

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月3 : /Mon.3

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10121301			
科目番号 /Course Number	10160206			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	意外と知らない植物の世界（リベラルアーツ・ゼミナール） : The World of the Plant not to Know Unexpectedly			
担当教員名 / Instructor(s)	/井戸 美里/畔柳 加奈子/他 : IDO Misato/KUROYANAGI Kanako/etc.			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	担当教員は京都府立植物園長として植物栽培などに従事した実務経験があり、その際の経験を活かして植物の有する薬効成分の解説や成長戦略の不思議などについて講義を行う。	
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1340			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>アナログ学習の重要性を実践するため、座学で学んだ植物を、隣接の京都府立植物園で確認、学生にホンマモンの植物(木本、草本、熱帯樹木など)を感じさせる。</p> <p>また、植物を共通のテーマとして、専門分野の異なる複数の教員がリレー講義を行うことによって文理横断の内容を多角度から学ぶ。例えば、源氏物語に登場する植物の解説、薬効成分のある植物の味覚・嗅覚の体験などを行う。</p> <p>本講義では、京都府立植物園でのフィールドワークを6回、植物に関する制作活動を2回行うなど、実際に植物に触れ、観察する機会を多く設けている。実践的な授業の中で異分野の学生同士が交流することにより、新たな視点を獲得することを期待する。</p>
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan

No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回 9/29 松谷 茂 オンデマンド	ガイダンスー世界の植物園、日本の植物園、その歴史と発展過程の必然性
	英		
2	日	第 2 回 10/6 浦川 宏 稲盛記念会館 105 講義室	衣類の色と天然染料、それらの歴史
	英		
3	日	第 3 回 10/14(火予定) 後藤 仁志 オンデマンド	動物と植物の関わりや違い、その有効利用等について学ぶ
	英		
4	日	第 4 回 10/20 浦川 宏 稲盛記念会館 105 講義室	海藻（海草）は植物か？それらから得られる寒天について
	英		
5	日	第 5 回 10/27 畔柳 加奈子 稲盛記念会館 105 講義室	暮らしの道具にみる素材としての植物ー観察
	英		
6	日	第 6 回 11/10 畔柳 加奈子 稲盛記念会館 105 講義室	暮らしの道具にみる素材としての植物ー製作
	英		
7	日	第 7 回 11/17 松谷 茂 府立植物園	日本に分布する野草の多様性と薬効のある植物の観察 ●植物園で授業(実習)の集合場所は北泉門(稲盛記念会館の南西側)。 集合時間は 12:50。 ①持参 学生証、筆記用具 ②マスク携帯など各自感染症対策のこと
	英		
8	日	第 8 回 12/1 松谷 茂 府立植物園	世界における野草の多様性と薬効のある植物の観察 ●植物園で授業(実習)の集合場所は北泉門(稲盛記念会館の南西側)。 集合時間は 12:50。 ①持参 学生証、筆記用具 ②マスク携帯など各自感染症対策のこと
	英		
9	日	第 9 回 12/8 松谷 茂 府立植物園	樹木の多様性と薬効のある樹木の観察 ●植物園で授業(実習)の集合場所は北泉門(稲盛記念会館の南西側)。 集合時間は 12:50。 ①持参 学生証、筆記用具 ②マスク携帯など各自感染症対策のこと
	英		
10	日	第 10 回 12/9(火・予定) 松谷 茂 (オンデマンド)	植物の生き抜く戦略ー木本・草本の不思議と謎
	英		
11	日	第 11 回 12/15 野口 祐子 稲盛記念会館 105 講義室	プラントハンターを魅了した日本の植物
	英		
12	日	第 12 回 12/22 井戸 美里 稲盛記念会館 105 講義室	日本美術にみる植物表現 1ー和歌と絵画のかかわり
	英		
13	日	第 13 回 12/23(火・予定) 井戸 美里 (オンデマンド)	日本美術にみる植物表現 2ー「花鳥画」の世界
	英		

14	日	第 14 回 1/13 松谷 茂 府 立植物園・温室	熱帯植物の多様性の観察 ●植物園で授業(実習)の集合場所は北泉門(稲盛記念会館の南西側)。 集合時間は 12:50。 ①持参 学生証、筆記用具 ② マ ス ク 携 帯 な ど 各 自 感 染 症 対 策 の こ と
	英		
15	日	第 15 回 1/19 松谷 茂 府立植物園・温室	熱帯植物&厳寒期の樹木の生き抜く戦略の観察 ●植物園で授業(実習)の集合場所は北泉門(稲盛記念会館の南西側)。 集合時間は 12:50。 ①持参 学生証、筆記用具 ②マスク携帯など各自感染症対策のこと
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	特になし
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	授業における課題やレポート課題を手掛ける過程において、対象となる植物等を、文献や資料をもとに調べて理解すること、日ごろから植物に対する観察眼を養っておく必要がある。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	特に指定しない。授業時にプリントを配布。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	評価は出席（講義全 14 回の 3 分の 2 (9 回)以上の出席が規定。初回は除く）、第 5 回・6 回の作品課題及び全講義終了後の提出レポートによる。（レポート課題は最終講義日までに告知）
英	

留意事項等 Point to consider	
日	代表教員の松谷茂は京都府立植物園の名誉園長であり、勤務経験を活かした講義及び現地植物実習(熱帯植物や薬用成分のある植物観察)をアナログ的に行う、全国的にもユニークな授業である。
英	